

# ツーリズムが東北の復興をけん引する



ジェイティービー会長 田川博己  
たがわ ひろみ

震災からまもなく五年がたつ。回復基調にあるとはいえ、残念ながら東北の復興は道半ばと言わざるを得ない。人口減少や高齢化、産業の空洞化といった課題が残されていることも明瞭である。ここではツーリズムの活用による復興について提案していきたい。

## 観光を基軸に地域活性化を

ツーリズムは裾野が広い産業である。旅行業だけでなくあらゆる産業・業界とも融合できる機能を持っており、経済波及効果・雇用創出効果も大きい。単なるレジャー市場の開発だけではなく、人の動き(交流)、地域産品などのモノの流れの創出により、周辺産業を含む地域全体への波及効果が期待できる。定住人口減による消費の減少を、交流人口の拡

大によりカバーすることもできる。

JTBグループでは、事業ドメインを交流文化事業と定義して、観光を基軸とした地域活性化事業の推進に取り組んでいる。地域ならではの魅力を発信することにより、日本全国・世界各国からの集客を促すことで地域活性化を図る、DMC(デステイネーション・マネジメント・カンパニー)戦略を推進している。国内外の人々の交流を創造し、文化、経済、教育、健康、交流などの「旅の力」を活用して、地域が持つさまざまな課題を解決することを目指している。

旅行のかたちも変わってきている。単なる物見遊山ではなく、そこにある生活文化を体験する「コト」消費がますます重要になっているのだ。東北についても、その魅力を発掘

## 東北の観光戦略を世界に向け発信

訪日インバウンドへの取り組み強化も重要だ。自然、歴史、食、温泉、伝統工芸品など、東北には数多くの魅力が存在する。だが残念ながら、その魅力は伝わりきれておらず、結果として訪れる人は他の地域と比べると少ない。東北固有の四季・風土の魅力や、「元気がある」「海と生きる」をテーマにした新たなコンテンツを盛り込んだツアーを継続して実施している。

震災から六年目を迎えるにあたり、五年間を振り返り、官民の観光関係機関と協力して、「ともに進む あしたへつなぐ 東北の未来」をテーマに、東北の魅力を全国、世界に発信する。これまで以上にさまざまなお客様をお迎えすることを目指し、東北の未来に貢献する「絆キャンペーン」も二〇一六年三月から実施する。

さらには、JATA(日本旅行業協会)でも、新しい東北観光の実現に向けて、太平洋沿岸地域の「みちのく潮風トレイルコース」を活用して、自然環境の整備活動を通じ、自然景観の復興、生活文化の再生と向上に取り組む「JATAの道プロジェクト」を実施している。二〇一四年から開始した「ツーリズムEXPOジャパン」という世界最大規模のツーリズム産業のイベントにおいても、震災を風化させないための取り組みを実施している。

東北の復興なくして、日本の再生はない。ツーリズムは東北の復興をけん引する大きな力になる。官民一致団結して、震災復興にとどまらず、持続的な地域社会である新しい東北の創生に中長期的に取り組んでいきたい。



な東北」を発信していくことが必要だ。しかし、各県でバラバラに行っているのでは効果的・効率的ではない。二〇一五年六月に認定された広域観光周遊ルート、「日本の奥院・東北探訪ルート」の具現化など、各県が連携して東北全体の観光戦略のブランドデザインを描き、世界に向けて発信していくことを急ぐべきだ。団体旅行から個人旅行へと旅行スタイルがシフトしていることを踏まえ、受け入れ環境の整備を進める必要がある。あわせて、原発事故の風評被害の払拭のための正確な情報発信も強化すべきだ。

JTBグループの東北復興における取り組みをいくつか紹介したい。JTBグループは震災直後から、現地に出

き復興の手伝いをしたいという一般の方々、地元ボランティアセンターをつなぎ、ボランティア活動をサポートしてきた。さらにこの活動に、観光を加え、地域経済活性化への貢献を目的とするボランティアサポートへと発展させ、今日まで継続的に行ってきた。

また、大震災を風化させることなく後世にその教訓を伝えることを目的として、地元自治体・企業・団体と連携して「震災復興支援プログラム」「防災学習プログラム」などの学びのプログラムを作成し、多くの方々に参加いただいている。

被災地に継続的に足を運んでもらうことによって、心の復興につながり、その輪は広がっていく。こうした思いから、復興にかかわる根を絶やさず、しっかりと根付かせる仕組みをつくっていくための「東北ふるさと課(化)」プロジェクトを立ち上げ、推進している。地元ではない外の人間の目線によって、「地元の当たり前」をツアーにした試みだ。宮城県気仙沼市では、主力産業でありながらこれまで観光とは縁の薄かった漁業や水産業の方々と一

緒に、市の復興スローガンで